



美中コミュニティ・スクール便り「北斗の光」

〒929-0233 白山市美川浜町タ5番地 TEL076-278-2364

発行 美川中学校運営協議会

コミュニティ・スクールとは（美川中学校はコミュニティ・スクール3年目がスタートしました）

学校が抱える課題の解決に向け、保護者や地域の方々が学校とともに知恵を出し合い、協議を深める仕組みが学校運営協議会制度です。その制度のもと、学校運営協議会を設置している学校をコミュニティ・スクールといいます。協働しながら子ども達の豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進めます。

令和8年度美川中学校運営協議会開催

5月13日(水) 13:30~15:00 会議室

第1回目の学校運営協議会は委員の自己紹介から始まり、会長・副会長・コーディネーターの選任が行われました。今年度は、新しく育友会副会長の木谷栄司さんと友田麗子教頭先生が委員として加わり、10名での学校運営協議会がスタートしました。

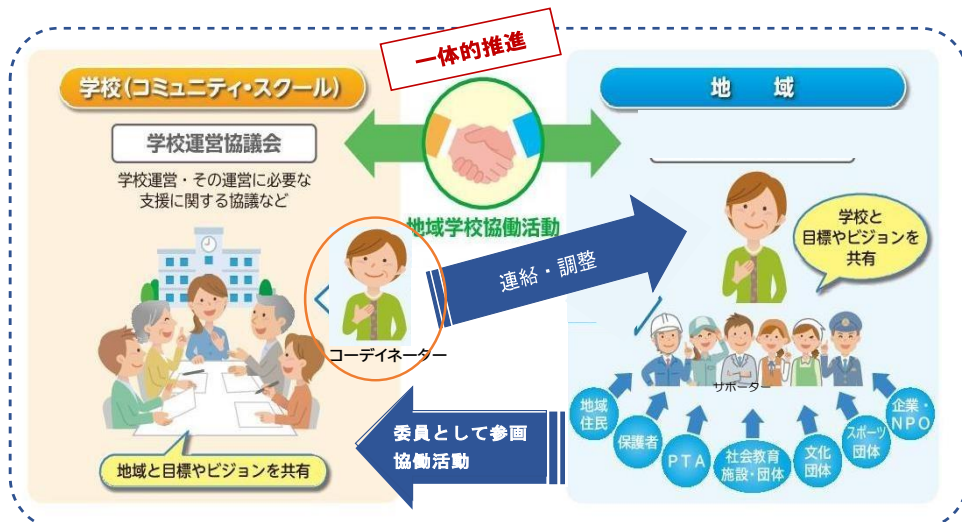
田向校長先生から令和8年度の美川中学校運営計画についての説明がありました。教育目標「心豊かで自ら学びたくましく生きる生徒の育成」とし、「目指す生徒像」「目指す学校像」「目指す教師像」の三本の柱、学校経営の重点と努力目標で具現化を図り、生徒の可能性を広げて行きたいとお話でした。組織的な学校運営として、道徳教育を要とした学校研究の推進、学校運営協議会の活用と地域との連携、白山三育、小中連携の推進を重点としています。

令和8年度の美川中学校運営計画が承認されました。また、少子高齢化に伴う生徒数の減少問題や部活動地域展開についても話題となりました。学校運営協議会でもしっかりと取り組んで行かなければと思っています。



令和8年度 美川中学校運営協議会委員

会長	二口 伸也	美川コミュニティセンター長
副会長	山本 洋平	元学校評議員
コーディネーター	中村 依子	元学校評議員
委員	田向 剛	美川中学校 校長
	友田 麗子	美川中学校 教頭
	佐戸 慎一	湊コミュニティセンター長
	根上 宏之	蝶屋コミュニティセンター長
	谷野 清和	元学校評議員
	池田 甚兵	美川中育友会 会長
	木谷 栄司	美川中育友会 副会長



地域学校協働活動とは

学校と地域が連携して、地域の方々が学校の運営や授業、行事などに参画することを言います。コーディネーターは、学校のニーズに応じて各種団体、地域ボランティア、サポーターの方々との橋渡し役として活動します。

美川中学校コミュニティ・スクールを通して

学校

- ・学校の様子や教育目標、経営方針に対する地域の理解が深まる
- ・学校の学びを地域での体験活動や実践活動を通して、社会に開かれた教育課程を実現
- ・教員の働き方改革の実現

生徒

- ・学校を核とした地域づくりとして一体的に取り組む地域学校協働活動の展開
- ・学校だけでは得られない知識等の習得や体験ができる
- ・郷土を知り地域と関わることで、ふるさと美川への愛着の高まり

地域

- ・地域学習を通して郷土愛を育み、地域を担う人材の育成
- ・地域全体で行う生徒指導が、問題行動の減少に繋がる
- ・自分たちの地域は自分たちで問題解決するという意識の向上

こんな効果が期待されます

学校と地域の連携がもつウェルビーイングの可能性

子ども達も、保護者も、地域も、学校も幸せになることが大事

「人」のウェルビーイング

- ・地域の魅力を再発見
- ・住民が地域における自分の役割を再発見
- ・地域コミュニティの活性化
- ・地域の担い手の育成

「地域」のウェルビーイング

美川を愛する心を養い、住民みんなの力で
子ども達の成長を支えられる地域



自分の住むまちを愛する気持ち
郷土の魅力を見つけた時の喜び
きっと人生を豊かなものにしてくれるはず
地元の人が楽しいと思っているまちに入はくる

白山市のコミュニティ・スクールの特色

学校運営協議会の中にコーディネーターを配置することが出来、学校と地域との連携の橋渡し役を担います。

協議会委員の中からコーディネーターを選任することができ、学校のニーズに応じて、地域人材の中から講師を探したり、地域コミュニティ組織や各種団体、ボランティアグループにゲストティーチャーやボランティア参加要請等の連絡をしたりします。